

地平線

全日本港湾労働組合
関西地方建設支部機関誌

2024年10月30日 391号

全日本港湾労働組合関西地方建設支部

〒552-0021

大阪府大阪市港区築港1-12-27

電話 06-6572-2105 / FAX 06-6574-5648

e mail kensetsu@crux.ocn.ne.jp

11/6 冬季一時金はじめ職場改善要求を提出 職場と支部の力を結集し 団体交渉を団結してたたかおう

11月の声を聞き今年も残すところ2ヶ月ほどになりました。猛暑が長く続いたので秋がはっきりと感じられなくて短い秋になりそうです。また、自然の猛暑で身体を酷使しているのので体調・健康には充分気をつけて生活・労働をしていきたいものです。

社会では日常生活が慌ただしさを増し、巳年・2025年、新年の話も増えてきています。

経済生活は食料品はじめ物価の値上がりが続き、インフレはおさまりそうもありません。

2022年の秋年末から二年以上物価高はつづいており、厳しい経済生活から発する切実な一時金要求、生活改善・職場改善の要求を実現するためたたかっています。

建設支部では10/6(日)扇町のPLP会館で第52回定期大会を開催しました。コロナの時からの影響も残っていて委任状とズームなどデジタル・リモートの画面、対話などの技術も使って、昨年並みの大会になりました。一年間の点検・総括をして、向こう一年の方針を話し合い決めました。

秋年末闘争は11/6(水)に冬一時金はじめ職場要求を会社・経営側に提出します。支給日は12/10(火)を最終支給予定日として各分会は担当執行委員と協力・打ち合わせをして一体となって団体交渉を闘っていきましょう。

私たちがとりまく社会では11/11(月)より特別国会が始まるようです。

10/27(日)選挙の結果がでて自民・公明の与党で過半数にいかないのが政治がドタバタしています。石破氏が再度、首相をやるためには自民・公明以外にどこかから18人ほど石破氏に票を入れてくれる人を引っ張ってこないとダメなようです。それでこれから一週間ほどはそのための交渉や駆け引きで忙しくなるようです。しかし、その間にはアメリカの大統領選挙(11/5火曜)で、アメリカの混乱も日本に流れ込んできます。アメリカ時間は日本より14時間ほど遅いらしいので日本では11/6(水)夜にならないとハリスかトランプかは分からないようです。票差が僅差の時は負けを認めない動きがあり、市民は銃を持って動く訳なので血を流す混乱に突入する不安・心配が漂っています。日米同盟といっ

たところで、歴史・時代の変化と転換・流動の中にあります。それが世界の生きて動く現実です。

足元の日常生活では物価高、インフレの社会でどう生き抜いていくか、いろんな模索がされています。日本社会の構造として、賃金・経済格差の拡大、階級社会の固定化、人権差別の構造化、密室・内生化が進んでいます。10/25(金)の裁判で、大阪地検トップの(元)検事正が部下の女性検事に性的暴行を加えたとして準強制性交罪に問われ、その事実を認めました。6年間苦しんでいた女性検事は勇気を出して元の上司で大阪地検トップの検事正を告発しました。日本社会の構造的セクシャルハラスメントが官僚・行政機構にあることを示しています。

経済的構造としては物価高の一因として一ドル150円とか、国力の低下を示す円安が進行しています。円の力(価値)が無いので外国から食糧などを買うときは不利で物価はドンドン高くなる構造にはまっています。

日本銀行がマイナス金利、ゼロ金利を転換し「金利のある世界」に移行しました。

それでもアメリカの高金利との格差が大きくみんなは高金利のドルを買うので「構造」として円安になっています。間違ったアベノミクス路線から抜け出す流れの中にありますが、それは国債利払い増大や住宅ローンの負担増など、厳しい現実と危機を目に見えるものにします。新しい厳しい現実の姿が生まれてきています。

世界は三年目に入った戦争、そしてイスラエル・パレスチナ戦争は中東・アラブ世界全体に広がろうとしています。アメリカの一極支配のグローバル世界は終わりつつあります。アメリカの覇権が機能しない新しい世界秩序をめざして地球は変化の中にあります。インド・ブラジルなどのグローバルサウスの国々の力が強まり、反西欧・反植民地のマグマが地底から湧いてきています。日本も地球のこの大きな流れの中に存在しています。新しい現実が生まれつつある転換期の24秋年末・一時金交渉が始まります。巳年・25春闘にもつながる活動として、分会・支部一体となり団体交渉をたたかっていきましょう。



スキマバイトの法的問題
EU指令、ILOの動向を参考に

今注目のスキマバイト
問題の第一人者

脇田滋さん登壇

大阪地域合同労働組合

と

全港湾建設支部の

共催学習会です

デジタル手配師・スポットワーク事業者に規制を

もてはやされるスキマバイト

テレビコマーシャル等で広く紹介された「スキマバイト」。

スポットワーク業者が提供するスマートフォンアプリで単発仕事を探して就労の申し込みをする。面接無し、履歴書も不要でその日に仕事ができる。給料は即日払い。

まさに空いたスキマ時間に手軽に就労できる便利な仕組みである。

農業の季節労働需要がある地方自治体では、スポットワーク業者と包括連携協定を結ぶところまで出てきている。

求職登録をする人は今年10月で約2000万人、この一年で倍増している。この中には多くの中高齢者も含まれている。

効率よく、求人する者と仕事を求める者をデジタルを介して結ぶ。今はやりのDX（デジタルトランスフォーメーション）の嚆矢ともいえるべきものかもしれない。

但し大手業者での紹介手数料は支払賃金の三割にのぼるといふ。

話が違ふぞスキマバイト

新しい技術を使って労働関係を革新していく方向は不可避として、ここにきてスキマバイトを巡って様々な問題点が浮かび上がってきている。

仕事に行ってみると求人条件と違ふ業務をさせられる、又は、今日は仕事が無くなったと帰らされる、仕事場に向かっている途中で事故が発生しても通勤災害の適用が拒否される、などトラブルに暇がない。

スポットワーク業者が無断欠勤をした人に無期限でアプリ使用を停止「ペナルティ」を課したことに厚生労働省が職業安定法違反として「指導」する事態も起こっている。職安法上では求職申し込みを紹介業者は拒否できないという規定に違反しているという理由である。

スキマバイトでは、求職者がスマートフォンアプリ上にある求人に応募するとマッチングが成立し、仕事場に行きスポットワーク業者のQRコードを読み込むと就労開始となり、その日の賃金もまたスポットワーク業者が即日立替払いする。

でもこれはおかしくないか。

中間搾取は封建遺制だ

港湾労働法ができる以前、港湾労働は暴力団が手配師として労働者を暴力支配し、荷役会社に人を送り込んだ。労働者からなんのののかのとピンハネは当たり前、文句を言う労働者など手配師の気に入らなければ仕事から締め出す、ケガをしても何の補償もなく放り出す。釜ヶ崎でも暴力手配師が横行し、港湾と似た構造で建設日雇労働者を搾取してきた。

古くは戦前の土木建築業の飯場、鉱山業の納屋などの「監獄部屋」、「タコ部屋」、女工哀史に名を残す紡績、生糸業の女工寄宿舎など枚挙に暇のない奴隷的拘束、苦役には必ず中間搾取を図る労働者供給業者の存在があった。

スポットワーク業者は労働者の出退勤を管理し、就労を制限する紹介停止ペナルティ等の手段を持ち、立替と称し賃金を支払い、収入上限や就労時間上限など労働条件を実質決定する権力を持っている。

これは職業紹介などではなく、実質日雇い労働者の派遣である。しかも労働契約は就労先と労働者の関係として使用者責任から全面的に逃亡している。

かつて港湾や建設の日雇い労働者を運んだ西成センター前に並んだバスを、スマートフォン上

のアプリに代えたデジタル手配師ともいうべきしろもの。

職安法を改悪した有料職業紹介の解禁、そして派遣業法までさかのぼり、他人の就業に介入する手配師業を一掃するため取り組みを始めるときではないか。

「労働憲章」に立ち返ろう

戦後労働基準法ができ、6条に「業として他人の就業に介入して利益を得てはならない」と定め、封建的遺制ともいうべき中間搾取を排除しようとした。労働憲章と称された労働者の権利を擁護する精神から今は遥かかけ離れてたどり着いた現時点というしかない。厚生労働省は職安法違反で上げる中味が違ってるだろう。



今後の予定



支部ホームページ

2024年10月～12月

11 / 6 (火)	18:00	冬季一時金等・職場要求書提出 弁護士・相談会
11 / 8 (金)	17:30	西成第1回メーデー相談会
11 / 11 (月)	18:30	支部執行委員会
11 / 15 (金)	16:00	ユニオンネット (労組連帯) 運営委
11 / 19 (火)	15:00	太平分会執行委員会
11 / 21 (木)	18:00	ヨンデネット (日朝日韓連帯) 会議
11 / 25 (月)	18:30	秋季学習会・地域合同共催 「スキマバイトの法的問題」 講師・脇田滋さん 場所・連合中会議室 (日赤会館)
12 / 2 (月)	18:30	支部執行委員会 (予)
12 / 6 (金)	15:00	太平ビルサービス分会大会
12 / 13 (金)	13:00	地本労災職業病対策会議・総会
~ 12 / 14 (土)		
12 / 14 (土)	13:00	部落解放大阪府民共闘会議・総会
12 / 16 (月)	18:30	南大阪幹事会 (田中機械)